

令和5年5月23日（火）大森東小学校 自閉症・情緒障害特別支援学級開設 事前説明会 質疑応答

番号	質問	回答
1	大森東小学校は、自宅から遠くて通学が難しいです。他の学校に自閉症・情緒障害特別支援学級を設置する予定はありますか。	今後の設置に関しては、現在検討しているところです。 現時点では、設置校や設置時期が定まっておりません。 なお、令和6年度に開設を予定しているのは大森東小学校のみとなります。
2	自閉症・情緒障害特別支援学級に入級し卒業した後、進学先として、中学校に自閉症・情緒障害特別支援学級を設置する予定はありますか。	中学校への設置についても検討しており、現時点では、設置校や設置時期が定まっておりません。
3	自閉症・情緒障害特別支援学級ができることによって、大森東小学校から特別支援教室(サポートルーム)がなくなるということはありませんか。	特別支援教室(サポートルーム)はこれまでどおり継続します。 令和6年度4月以降は、大森東小学校には固定の学級である自閉症・情緒障害特別支援学級と特別支援教室(サポートルーム)が併存することになります。
4	中学校については未定ということですが、通常の学級に進学する際に、住所地の指定校である中学校に進学するのですか。それとも、大森東小学校の地域の中学校に進学となりますか。	大田区は指定校制度をとっていますので、ご住所の指定校に進学していただくことが原則となります。
5	入級後、不登校になってしまった場合に適応指導教室(つばさ教室)との併用は可能ですか。	不登校の状態になった場合、直ちにつばさ教室に通えるようになるということはありません。 教育相談を受け、つばさ教室は学校や学級ではなく自習の場であることを理解していただいた上で、入室体験や通室する意思の確認を経て通室の決定を行います。 また、自閉症・情緒障害特別支援学級は、通学できない状態で在籍することを想定していないため、退級していただき、ご住所の指定校に転学(転校)していただくこととなります。
6	時程は通常の学級と同じように、朝から始まりますか。	自閉症・情緒障害特別支援学級の時程は、大森東小学校の通常の学級と同じ時程となります。

番号	質問	回答
7	<p>特別支援教室(サポートルーム)で行う自立活動と自閉症・情緒障害特別支援学級で行う自立活動ではどう違いますか。 また、どちらで指導を受けた方が課題の改善につながりますか。</p>	<p>サポートルームと、自閉症・情緒障害特別支援学級のどちらが課題の改善につながるのかということは、お子さん一人一人の特性が異なりますので、一概にお答えできるものではありません。 自立活動の指導内容については、「特別支援学校学習指導要領解説 自立活動編」を参考に6区分 27項目の中から選択されるため、サポートルームと自閉症・情緒障害特別支援学級とで指導内容に大きな違いはないものと思われます。 しかし、自閉症・情緒障害特別支援学級で行う自立活動については、通級指導ではなく固定した学級で少人数指導の中で継続した指導を行ってまいりますので、そのお子さん一人ひとりの強みをより生かした自立活動につながると考えています。</p>
8	<p>診断が ADHD(注意欠陥多動性障害)や LD(学習障害)のみの単一障害の場合は、自閉症・情緒障害特別支援学級の対象とならないということですが、広汎性発達障害の診断であれば単一障害でも対象となりますか。</p>	<p>個別の判断となりますが、自閉症あるいは情緒障害であることがわかる診断書をあらためてご提示いただく必要があります。</p>
9	<p>発達検査の種類は限定されていますか。</p>	<p>検査方法の指定は行っておりません。 臨床心理士または公認心理士によって検査が行われ、数値による評価が行われているものであれば、有効です。</p>
10	<p>診断書の様式は決まったものがありますか。手帳の申請をする際に取得した診断書があるのですが、それを利用してもよいでしょうか。</p>	<p>様式の指定は特にありません。 医師の署名があり、自閉症・情緒障害特別支援学級の対象となる障害名が記載されている診断書であれば、有効です。</p>
11	<p>診断書の期限はありますか。</p>	<p>診断書に有効期限はありません。</p>

番号	質問	回答
12	学校所見の記入の依頼は保護者がするのでしょうか、それとも就学相談に申し込めばそれでいいですか。	保護者の方から、学校に依頼をする必要はありません。 教育センターに就学相談の申込みをした後、相談員から学校に書類の作成・提出の依頼を行います。
13	「知的発達に遅れがない」というのはIQいくつ以上などの基準がありますか。	知的障害は、医師による診察で「知的障害がある」「知的障害がない」と判断されるものであり、発達検査の点数で決まるものではありません。明確な基準はありません。 IQ80前後の「境界域」と呼ばれる点数のお子さんについては、診断書に記載されている医師の評価等を基に、相談をさせていただくことになると考えております。
14	送迎の手段が見つけれなかった場合、入級をキャンセルすることはできますか。	就学相談を進めていく中で、必ず継続的な送迎が十分に可能かという確認をさせていただくこととなりますので、相談途中で相談を取りやめることは可能です。
15	就学支援委員会で入級不適と判定された後に、定員に余裕ができた場合には、繰り上げのような形で再度入級対象者となることはできますか。	就学支援委員会では、専門家等によってそのお子さんが特別支援学級での指導を受けることが適切かどうかということを判定いたします。そのため、就学支援委員会の場で自閉症・情緒障害特別支援学級への入級が適切ではないと判定された方については、定員に余裕があっても、入級の対象者となることはありません。
16	就学支援委員会の場で入級する8人が絞られますか。	就学支援委員会の場の前の段階の就学相談の中で、お子さんが自閉症・情緒障害特別支援学級の対象となるかどうか、通学・送迎が可能で負担にならないかどうか、また自閉症・情緒障害特別支援学級に入級し指導を受けることがお子さんにとってよりよい環境なのかなどということについて相談をさせていただきます。 その相談過程の中で、徐々に入級候補者が絞られていくものと考えております。

令和5年5月23日（火）大森東小学校 自閉症・情緒障害特別支援学級開設 事前説明会 質疑応答

番号	質問	回答
17	2年～6年生の8人で1学級ということでしょうか。それとも各学年8人ですか。	2年生から6年生の範囲の入級児童で構成される合計8人の1学級となります。
18	令和6年度以降、年度途中での転学は可能ですか。もしくは今回のように申込期間が限られますか。	定員が8人に限られていることから、申し込み期間を限定してお受けし、就学相談及び就学支援委員会を経て、4月の入級を考えております。現時点では、来年度以降も年度途中での転学はお受けしない想定としています。
19	1学級8人という定員は、1学級のみでしょうか。それとも2学級、3学級と増えていくのでしょうか。	学級数は1校につき1学級を限度と考えており、大森東小学校の自閉症・情緒障害特別支援学級の学級数は今後も1学級を継続することになります。
20	定員が8人ということは、今後卒業をしたり、通常の学級に戻って退級をした児童の数だけが、令和7年度の入級枠となりますか。	令和6年度に入級した児童が、令和7年度も継続して自閉症・情緒障害特別支援学級に在籍する場合、令和7年度に大森東小学校の自閉症・情緒障害特別支援学級に新たに入級できる人数は、定員8人から継続して在籍する児童数を差し引いた数の児童となります。
21	2年～6年生の8人で1学級を構成した場合、どれくらい人が配置されますか。	在籍児童が3人以上の場合、担任となる教員が2人、それに加えて特別支援学級講師（週6時間）が1人、児童の学習や生活のサポートなどを行う介添員が1人の計4人の人員が自閉症・情緒障害特別支援学級に配置されます。
22	2年～6年生が8人いて、複数の学年が同時に学習する際、4人の先生でどのように指導をするのでしょうか。	複式学級と同様の指導が想定され、教科ごとに小集団に分けて指導を行うことを想定しています。 現時点では入級児童が決まっていないため、お答えすることが難しいです。また、グループ編制やグループ数も今後、入級児童が決まった後に、その特性に合わせた指導を学校と相談をしながら進めていきたいと考えております。

令和5年5月23日（火）大森東小学校 自閉症・情緒障害特別支援学級開設 事前説明会 質疑応答

番号	質問	回答
23	特別支援学級に配置される教員はどのような経歴や資格を持った教員になりますか。	<p>教員の人事配置は、東京都教育委員会と大田区教育委員会で協議しながらとり行われます。</p> <p>現時点では、入級児童数が決まっていないため配置できる教員の数も未確定です。ただ、本区初の自閉症・情緒障害特別支援学級となりますので、専門性の高い教員の配置が必要と考えております。</p>
24	公認心理士等の連携はありますか。	<p>自閉症・情緒障害特別支援学級専任の心理士ではありませんが、大森東小学校に配置されているスクールカウンセラーと連携をとってまいります。</p>
25	自立活動以外は交流学級(通常の学級)に行って勉強すると思っ ていましたが違うのでしょうか。	<p>自閉症・情緒障害特別支援学級においても自立活動以外の学習も行います。</p> <p>どの授業を交流及び共同学習で行うかは、お子さんの状況に応じて検討していきます。</p> <p>例として、国語や算数は自閉症・情緒障害特別支援学級で学習を行い、音楽や体育など実技中心の教科を交流学級で学習するというようなことは考えられません。</p>
26	コミュニケーションに課題のある子どもが少人数指導を受けること になると思いますが、交流及び共同学習で全体の行事などに参加する のはハードルが高いように思います。子どもが交流及び共同学習を 嫌がった場合はどうなりますか。	<p>交流及び共同学習の頻度や程度については、保護者の方と相談し、お子さん 本人と合意して決めていくこととなります。</p> <p>そして、お子さんの状況に合わせて段階的に交流及び共同学習を進めてまい ります。</p> <p>運動会などの行事はハードルが高いので、交流学級への授業参加は、廊下や 教室の後ろで見ることなどから始める場合もあるかと思えます。このように一人 ひとりの状況や特性に応じて、慎重に進めてまいります。</p>
27	自転車で通学することは可能ですか。	<p>大田区立学校は自転車での通学ができません。徒歩または公共交通機関を利用 して通学していただきます。</p>

令和5年5月23日（火）大森東小学校 自閉症・情緒障害特別支援学級開設 事前説明会 質疑応答

番号	質問	回答
28	放課後ひろばの利用後も保護者の送迎が必要ですか。	通学区間中の安全確保のため、放課後ひろば(放課後子ども教室・学童)の利用後にも、保護者等による送迎は必要となります。
29	送迎に関する支援を教育委員会は考えていますか。	現時点で、送迎の支援を行う予定はありません。 保護者等に送迎をしていただくこととなります。区には、屋外での移動が困難な方を対象とした移動支援というサービスがありますが、このサービスを利用できるかどうかについて、ご本人の状況及びご家族の事情を事前に確認する必要があります。利用を希望される場合には、お住まいの地域を管轄する地域健康課にご相談ください。
30	仕事が長引いて、迎えに行くのが午後6時などになってしまうことがあります。学童を利用していない場合、子どもはずっと学校にいることになるのでしょうか。	下校時刻後に、学校に居続けることはできませんので、必要に応じて放課後子ども教室、学童保育または放課後等デイサービスなど放課後の預け先をご検討ください。
31	自閉症・情緒障害特別支援学級に入級した際に、通常の学級の児童と同様に放課後ひろばが利用できますか。	大森東小学校の児童として、通常の学級に在籍している児童と同様に放課後ひろば(放課後子ども教室)の利用が可能です。放課後ひろば(学童保育)も利用要件を満たしていれば、申請が可能です。